

東日本大震災に係るこども青少年局の対応について

1 市民の皆様への対応状況

(1) 当日の施設運営状況

ア 保育施設（認可保育園、横浜保育室）

保護者が帰宅困難となったため、保護者がお迎えに来るまで園児の保育を継続
228 園で合計 632 名の園児が園に宿泊

イ 放課後児童健全育成事業

ほとんどの施設で保護者のお迎えにより帰宅

- ・放課後キッズクラブ：5 校で合計 8 名が宿泊
- ・はまっ子ふれあいスクール：最終のお迎えが翌 12 日(土)の午前 1 時
- ・放課後児童クラブ：30 か所で 47 名の子どもが宿泊

ウ 障害児居場所づくり事業

帰宅困難な保護者への対応として、保護者が迎えに来るまで児童を保護
2 か所で合計 2 名の児童が宿泊（内、1 名は近隣の地域活動ホームにて宿泊）

エ 地域療育センター

地震発生が通園終了後であったため、通園児は全員帰宅済み

(2) 計画停電への対応

ア 情報提供

在宅で人工呼吸器など電力を必要とする医療機器を使用しているご家庭の中で、計画停電予定区域の 253 世帯を対象に、電話で各児童相談所から計画停電実施のお知らせをするとともに、主治医の連絡先や最寄りの電源提供施設などの確認を行った。

イ 協力要請

健康福祉局とともに、社会福祉施設等に対して、在宅で電力を必要とする医療機器を使用するご家庭に対して施設における緊急時の電力供給などの配慮をするように協力要請した。

ウ 横浜療育医療センターの自家発電用燃料の確保協力

施設の自家発電用燃料の総量が計画停電に向けて不足しているため、災害対策本部の協力により燃料を供給できる業者を施設に紹介し、軽油 320 リットルを確保した。

2 被災地・被災者への支援状況

(1) 被災地への人的支援（5月25日(水)現在）

- ・岩手県一関児童相談所へ児童相談所職員 6 名を派遣（厚生労働省経由）
（業務）一関児童相談所が実施する各避難所等における要保護児童に関する調査支援等
- ・岩手県大船渡保健所及び福島県北保健所へ保健師各 1 名を派遣（厚生労働省経由）
（業務）各避難所等における健康相談
- ・仙台市に職員 10 名を派遣（20 大都市災害時相互応援協定）
（業務）物資拠点における集配や各避難所等における支援
- ・仙台市に職員 2 名を派遣（全国市長会経由）
（業務）り災証明に係る建物被害認定調査業務等

(2) 被災された方への支援

ア 野島青少年研修センター

4月6日(水)から避難所として開設

これまでの最大受入人数：13名(男性10名、女性3名)(4月23日)

受入期間：年内を目処

イ その他

三ツ沢公園青少年野外活動センター、こども自然公園青少年野外活動センター、くろがね青少年野外活動センターは、被災者の受け入れに備えて6月末まで休館

3 その他の対応

(1) 「総合的な震災対策の考え方」について(こども青少年局の主な取組)

ア 暑さ・電力不足に負けない生活の工夫

- ・突発的な停電対策や省電力化対策

取組項目：人工呼吸器等の医療機器対策

取組内容：突発的な停電時に、在宅で電力を必要とする人工呼吸器等の医療機器を使用するご家庭が電力確保を必要とする場合に、地域療育センターに備える家庭用小型発電機により対応

イ 震災がもたらした不安・課題を乗り越える取組

- ・恐怖心が払しょくできず、精神的においこまれる子どもの心のケア

取組項目：保育所による心のケア

取組内容：保育園での生活を通じた保育士による心のケアと、区福祉保健センターの保健師等による巡回相談の実施

ウ 一部市民利用施設の輪番休館

取組項目：青少年施設における輪番休館

取組内容：青少年交流センター及び、青少年育成センター、横浜青年館において、7月から9月まで、定休日のほかに週1日休館を実施予定

4 その他報告

東日本大震災に伴い、青葉消防署青葉台消防出張所複合施設整備事業の進捗について変更がありました。詳細は別紙をご参照ください。

青葉消防署青葉台消防出張所複合施設整備事業の進捗状況について

青葉消防署青葉台消防出張所複合施設整備事業については、平成23年6月末日の竣工に向けて、建設工事を実施しておりました。

しかし、平成23年3月11日に発生しました「東日本大震災」により、一部の建設資材製造元及び配送センターが壊滅的な被害を受け納品の遅れが発生したことなどにより、**概ね1か月工期の延長**を余儀なくされました。

現在、各資材等の納期及び工程を最終確認し、建物引渡し日の調整をしています。

地震前のスケジュール

- ・平成23年3月 各階内装工事
- ・ 〃 6月 検査 (6月末日竣工・引渡し)
- ・ 〃 7月 運用開始

地震後のスケジュール(調整中)

- ・平成23年3月 各階内装工事
- ・ 〃 7月 検査 (7月下旬竣工・引渡し)
- ・ 〃 8～9月 運用開始

<参考>

1 整備目的

藤が丘消防出張所の耐震化問題を解消するとともに、青葉台駅周辺、しらとり台・田奈町方面の消防力を強化し、あわせて青葉区内の消防署所配置バランスの適正化を図ります。また、当該整備用地は、東急田園都市線青葉台駅から徒歩3分、容積率400%と好立地に位置しており、地域ニーズ等を踏まえ、市有地の高度利用を図るため保育所、地域子育て支援拠点、自転車駐車場と合築により整備します。

2 施設概要

- 場所：青葉区青葉台1-4
- 敷地面積：1,164 m² (近隣商業地域)
- 施設規模：RC造・地下1階、地上5階建、延床面積3,739.27 m²

<完成予定図>



5階	地域子育て支援拠点	RF	保育所園庭
4階	保育所		
3階	消防職員待機宿舎		
2階	消防出張所		
1階	消防出張所		自転車駐車場
地下1階	エントランス等		安全安心ステーション